

《担当者名》○ 沖野 久美子

【概 要】

講義で得た知識をもとに、ゲインや表示深度などの各種設定の調整方法、各種プローブの使い方を習得する。各臓器の基本画像を描出することができ、かつ解剖学的位置関係を学ぶ。各臓器別の標準的な操作法を理解しスクリーニング方法を実践できるように学習する。

【学習目標】

- 1) 超音波の性質を理解する。
- 2) 超音波装置と探触子の使い方を理解する。
- 3) 超音波検査前の処置について理解する。
- 4) 標準走査法に沿って各臓器の描出ができる。
- 5) 超音波画像の成り立ちを理解し、よく見られるアーチファクトを指摘できる。
- 6) 健常者の超音波画像（心臓・腹部・甲状腺・乳腺・血管その他）を覚える。
- 7) 代表的な病態の超音波所見を覚え、画像で指摘できる。
- 8) 超音波ドプラ法の種類と有用性を理解する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	超音波検査を始めるために	・超音波装置の調整方法 ・基本走査法	沖野久美子
2	消化器超音波検査 （走査法・正常像）	・腹部エコー検査の検査法、画像の記録及び評価方法 ・標準走査法が行える	沖野久美子
3	消化器超音波検査 （走査法・正常像）	・腹部エコー検査の検査法、画像の記録及び評価方法 ・標準走査法が行える	沖野久美子
4	消化器超音波検査 （走査法・正常像）	・腹部エコー検査の検査法、画像の記録及び評価方法 ・標準走査法が行える	沖野久美子
5	消化器超音波検査（実技テスト）	・腹部エコー検査において演習2～5の理解度を図る	沖野久美子
6	心臓超音波検査 （走査法・正常像）	・心エコー検査の検査法、画像の記録及び評価方法 ・標準走査法が行える	沖野久美子
7	心臓超音波検査 （走査法・正常像）	・心エコー検査の検査法、画像の記録及び評価方法 ・標準走査法が行える	沖野久美子
8	心臓超音波検査 （走査法・正常像）	・心エコー検査の検査法、画像の記録及び評価方法 ・標準走査法が行える	沖野久美子
9	心臓超音波検査（実技テスト）	・心エコー検査において演習6～8の理解度を図る	沖野久美子
10	血管超音波検査（頸動脈・腎動脈）	・血管エコー検査の検査法、画像の記録及び評価方法 ・標準走査法が行える	沖野久美子
11	血管超音波検査（下肢動脈）	・血管エコー検査の検査法、画像の記録及び評価方法 ・標準走査法が行える	沖野久美子
12	血管超音波検査（実技テスト）	・血管エコー検査において演習10～11の理解度を図る	沖野久美子
13	乳腺・甲状腺超音波検査	・乳腺・甲状腺検査の検査法、画像の記録及び評価方法 ・標準走査法が行える	沖野久美子
14	乳腺・甲状腺超音波検査 （実技テスト）	・乳腺検査の検査法、画像の記録及び評価方法 ・標準走査法が行える	沖野久美子
15	総合指導	・各回の内容について復習し理解を深める	沖野久美子

【評価方法】

テスト 60% + 実習態度 40%

実習態度の内容は、実技試験、口頭試問、レポート評価、を基本として評価する

【備 考】

教科書：生理機能検査学 実習書（監修 日本臨床検査学教育協議会 編者 今井正 医歯薬出版）
標準臨床検査学 生理検査学・画像検査学（編集 谷口信行 医学書院）

【学習の準備】

教科書の該当する項目を事前に熟読し、専門用語を理解しておく。

【ディプロマポリシーとの関連性】

- （DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。
- （DP4）臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に興味を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
- （DP6）臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。